

議事概要

件名	第9回 土気踏切勉強会		
開催年月日	2024年1月31日(水) 17時00分～20時00分	場所	土気公民館 講堂
主催者	JR千葉支社・千葉市		
出席者	JR東日本千葉支社千葉保線設備技術センター、千葉市道路計画課 土気本町1組自治会、山の谷自治会、楓台自治会、梅が丘自治会		
打合せ内容			
1 開会挨拶 2 議事 (1) 地元相談会の開催報告 (2) 今後の進め方について			
<p><説明内容></p> <p>(1)地元相談会の開催報告</p> <ul style="list-style-type: none">・令和5年11月と12月に計17回開催し、42名の方が参加(延べ人数は52名)・頂いたご質問に対する回答と、ご意見を表に整理し、報告 <p>(2)今後の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none">・土気踏切は、相談会やこれまでの意見交換をもとに、周辺道路の波打ち歩道の解消などの短期的整備が完了した時点で廃止することを最終決定した。・最終決定した土気踏切の方針について、地元説明会を開催する。・地元説明会は、令和6年3月の2日間(休日と平日)、開催する。・広報の方法は、ホームページ掲載や自治会回覧、特設掲示板で周知する。			
<p><勉強会の結果></p> <p>(1)地元相談会の開催報告</p> <ul style="list-style-type: none">・今回整理した内容は、似通った質問や意見が複数ある場合、1つに集約してまとめたが、発言した方によって意図が異なるため、再度、相談会の意見交換内容を精査し、ご質問・回答とご意見を修正する。 <p>(2)今後の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none">・周辺道路の整備と踏切の対応方針は、別の内容として整理し、資料を修正する。・地元説明会は、令和6年3月の休日及び平日に開催し、日時はJRと市で決定する。・JRと市が作成した開催案内を各自治会で回覧するほか、市のHPにも掲載し、地元に周知する。 <p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none">・本勉強会資料の修正内容を確認するため、2月24日(土)13:00から勉強会を開催する。 <p>意見交換内容は、次頁に記す。</p>			

<意見交換>

(1)地元相談会の開催報告

【地元からの意見】

踏切が廃止されるまでの間、警報が鳴っているときに入ると大変危険である、という注意喚起の看板を付けた方が良い。

また、ダミーでも良いから監視カメラを付けた方が事故抑止の効果があると思う。

さらには、踏切の安全性をより向上させるため、人感センサーや AI 技術を活かした感知器を設置することも考えてもらいたい。

【JR からの回答】

ご意見いただいたように、注意喚起の看板の設置など、踏切自体の安全対策について社内で検討を進めていきます。

なお、人感センサーについては、管内で、未整備の箇所も多く残っており、踏切の利用実態などを踏まえると、土気踏切を優先的に整備することは難しいですが、設置について社内で検討します。

AI技術を用いて踏切内の異常を検知し、踏切に接近する列車へ停止信号を現示するシステムについては、JRでは導入しておりません。他の鉄道事業者では実績があることから、社内で、技術開発などを含め、踏切の安全性向上について検討していきます。

【地元からの意見】

大網街道で、穴が空いた舗装や、段差がある箇所を間に合わせみたいに工事したところがあるが、数年で剥がれている箇所も見受けられるので、短期的整備を行うのなら、お金をかけてしっかりやってほしい。危険だから急ぐというのもいいが、整備をするなら、しっかりとやっていただきたい。大網街道全体の環境が良くなるよう、お願いしたい。

【市からの回答】

短期的整備と言いながらも、緊急的な措置ではなく、比較的、大規模な整備になりますので、事業費や期間を要することをご理解ください。

舗装の損傷や段差が生じていることについては、短期的整備ではなく、緊急的な補修として対応していきたいと思います。我々も、定期的に現場確認していきますが、皆さまが道路で気になる箇所を発見されたら、連絡いただくと助かります。情報を頂き次第、補修の段取りを進め、対応していきます。

【地元からの意見】

勉強会だけでなく、17 回も相談会を開催しているが、県内で、踏切廃止のために、こういう話し合いを行っている事例はあるのか。

また、廃止した踏切はどれくらいあるのか。

【JR からの回答】

JR 千葉支社管内に限った回答になりますが、他にも話し合いを行っているところや、廃止した事例はございます。今年度でも、廃止に向けて進めている箇所がございます。過去の実績で見ると、年間で 4、5 件程度、廃止に向けて進めています。

また、廃止した踏切ですが、今年度で言えば、2箇所あり、いずれも第1種踏切です。

【地元からの意見】

廃止した踏切では、地元から廃止に反対する意見はあったのか。

【JR からの回答】

反対意見はありましたが、賛成意見もありました。ご意見に賛否はあったものの、一定の理解を得たと認識したため、JR と道路管理者は、対象となる踏切の対応方針を決定し、廃止に至りました。

【地元からの意見】

廃止に向けて調整などを進めている踏切は、事故発生が発端か。

【JR からの回答】

基本的に、事故発生した場合に、踏切の危険性や利用実態、周辺環境を考慮して、廃止に向けて協議等を開始し進めています。

【地元からの意見】

資料の中で、相談会での意見や質問が全て反映されていないので、修正してから公表してほしい。強い意見だけを抽出されているかもしれないが、地元の意見は、それぞれの思いがあって発言しているので、漏れなく整理してもらいたい。また、質問に対する回答についても、地元の思いを真摯に受けとめて記載してもらいたい。

【市、JR からの回答】

改めて、すべての記録を確認し、修正します。

【地元からの意見】

踏切道改良促進法に基づいて、今年も改良すべき踏切を国が指定しているが、土気踏切は、まだ指定されていない。やはり、客観的に危険ではないという判断がされているのではないのか。

【市、JR からの回答】

法指定の基準は、危険性だけでなく、慢性的な渋滞がある場合も該当します。さらに、踏切道改良促進法の概念として、踏切の現況や周辺状況から見て、すぐに廃止できない場合は、暫定的に改良して安全対策を行うよう指定するものです。一方、鉄道事業者や道路管理者が危険と判断する踏切については、法指定の基準にかかわらず、廃止を含めた対策について協議等を進めています。土気踏切は、法指定の基準に該当しませんが、構造の安全上に課題があり、踏切周辺に迂回路があるため、廃止を決定しました。

【地元からの意見】

視距が短いということだが、トンネル坑口に生えている樹木を伐採すれば、見通しが良くなるのではないのか。

【JR からの回答】

踏切存続中の視距の確保について、改めて検討します。

【地元からの意見】

地元相談会を行って、地元の意見を理解しているのか。土気踏切は危険だから廃止するという考えのようだが、住民としては、土気踏切は生活に必要なもので、危険と感じていない。

【JR、市からの回答】

おっしゃるご意見も理解しております。一方で、相談会の中では、危険だと分かりながらも利用しているというご意見もありました。

皆様のご意見も踏まえ、JR と市は、土気踏切の構造に安全上の課題があり、改善できないことから、踏切利用者や乗客の安全を守るため、廃止する方針を決定しました。ただし、皆さまの利便性を確保することも重要であると認識していますので、土気踏切は、周辺道路の短期的整備が完了する時期にあわせて、廃止することとしております。

【地元からの意見】

踏切道は、JR と市のどちらが管理者になるのか。

【JR からの回答】

軌道と道路の平面交差部のため、両方が管理者となります。軌道上の設備という考えでは JR で、道路という考えでは市が管理者となります。遮断機の中にある踏切の維持管理は JR で行っています。

【地元からの意見】

廃止に関して、JR と市が協議して方針を決めているという説明があるが、仮に市が廃止に反対と言ったらどうなるのか。一向に話し合いが平行線になったら、どうなるのか。

【JR からの回答】

市が廃止に対して同意されない場合でも、JR としては一貫して廃止したい思いを市に伝え、協議は続けていきます。

【地元からの意見】

話し合いが平行線になれば、方針決定まで何十年も続くものか。

【JR からの回答】

他の自治体とは、続けている事例はございます。

JR が廃止したい考えを自治体に示し、同意を取れないと、方針は決定しません。

(2)今後の進め方について

【地元からの意見】

道路整備の設計については、勉強会で地元の意見を聞きながら進めてほしい。説明会の資料でも、勉強会で意見交換しながら設計を進めるということに触れてほしい。

【市からの回答】

今後、踏切とは別に道路の整備に関する勉強会を行い、意見交換しながら整備を進めていきます。この旨、説明会でしっかりとお伝えさせていただきます。

【地元からの意見】

大網街道は、自転車利用者が危険に感じる。自転車は、車道の左側を走ることが原則だが、歩道を走らざるを得ない場合もある。歩道が狭い上、場所によっては、民地の乗り入れブロックが置かれているため、自転車走行中に危険を感じる。

道路の拡幅整備時だけでなく、短期的整備時についても、自転車走行者の安全に配慮してもらいたい。

資料にも、自転車利用者の安全対策について記載してもらいたい。

【市からの回答】

用地取得できた箇所は短期的整備に併せて拡幅することも考えています。

また、自転車走行空間については、今後の勉強会で意見交換しながら、必要な安全対策を行っていきたいと考えていますので、この旨を資料に追記します。

【地元からの意見】

周辺道路の整備について、図面や概算事業費や計画工程など、具体性がないので、提示してもらいたい。

また、道路拡幅により歩道はどのように確保するのか。勉強会や説明会資料にも、事業をどのように進めていき、どの程度歩道幅を確保するのかを記載してもらいたい。

【市からの回答】

現在進めている測量が完了した後、設計を開始しますので、図面がある程度出来た時点でお示しすることができます。具体的な事業計画については、設計業務が完了すれば、提示させていただきます。

また、大網街道の道路拡幅は、土気駅付近から昭和の森付近までの区間で、道路両側に幅2.5m程度の歩道を整備します。用地取得が伴うことや歩道幅について、資料に記載させていただきます。

【地元からの意見】

道路整備を行うと示されているが、来年度は予算を確保しているのか。

【市からの回答】

当局として必要額を要望していますが、市議会の議決をもって予算が確定するため、現時点ではお示しできません。要望額どおりの予算が配当されずとも、事業を進めていくために、内部の手続きを踏みながら、予算を確保します。

【地元からの意見】

設計図面を地元提示し理解してもらってから、説明会を開催すれば良いのではないかと。

【市からの回答】

市としては、踏切の廃止にかかわらず、道路整備は行っていきます。

JR と市は、踏切の廃止を決定しましたので、年度内に、踏切の対応方針について説明会を開催することにご理解頂きたいです。日程は、JR と市で決定させていただきますが、いかがでしょうか。

【地元からの意見】

今説明された内容が、この資料では伝わらないので、修正すること。

説明会の開催については、異論はなし。